

議事録（要旨）

日 時	令和3年3月16日（火）	時 間	13:30～15:30
場 所	千葉県企業局 幕張庁舎2階 特別会議室 (web 会議併用)	出席者	(構成員) 佐々木構成員 (座長)、鎌田構成員 (副座長) 外2名 (リモート出席9名) (企業局) 岡本局長、縣水道部長、元吉水道部次長、宇内水道部次長、渡辺計画課長、秋場浄水課長、密本給水課長、その他職員、事務局職員等
議事名	第34回おいしい水づくり推進懇話会		
<p>○開会</p> <p>○懇話会の公開について</p> <p>○配布資料の確認</p> <p>○構成員、局職員紹介</p> <p>○局長挨拶</p> <p>○座長挨拶</p> <p>○議題1 新計画について</p> <p>(1) 概要について</p> <p>資料(p3)及び計画書案「おいしい水計画（仮）」により、これまでの計画の総括と新計画の概要について事務局から説明。</p> <p>主な意見、質疑は以下のとおり。</p> <p>(構成員)「おいしい水計画（仮）」15 ページについて、アンケート結果から全体の15%の方が不満と感じている中で、そのうち5割の方が安全性に不安があるということだが、この安全性に不安というのは具体的にどういうところから来ているのか。</p> <p>(企業局) アンケート結果を見ると、水道水に対する漠然とした不安とか、そういった声が寄せられている。当局では、水道水質基準の51項目よりも多い200項目を超える検査を行っており、そのことをPRしているが、いろいろと情報がある中では難しさも感じている。どのようなPRをしていけば良いか、意見をもらいたい。</p> <p>(構成員) 汚い水をきれいにして飲み水にしているのが水道水というイメージで、水源が汚いという意識がある。何となくミネラルウォーターの方がきれいで、ペットボトルを選んでしまうという方もいるのではないか。</p> <p>(構成員) どうやって水道水がつけられているのかがあまり理解されていないため、不安につながるということか。</p>			

議事録（要旨）

（構成員）水道出前講座の際に、参加者が自宅の給水方式を認識するような質問をしているのか。参加者に質問することで、貯水槽方式の方であれば、きちんと管理をしなければならないことを意識するようになると思う。

（企業局）一般の方を対象に水道出前講座を行う際には、事前打合せでどのようなテーマを取り上げて欲しいか聞き、要望があれば受水槽の話もする。実際、マンションで水道出前講座を開催した際に、受水槽から直結給水するメリットを説明してほしいという要望があり、話したことがあった。

（構成員）「おいしい水計画（仮）」13 ページの新型コロナに対する安全性において、エンベロプウイルスについて触れることで、一般の方にも新型コロナウイルスへの認識が高まり、感染予防対策にもつながるのではないかと。この1項が入っていたことを嬉しく思う。

（構成員）「おいしい水計画（仮）」23 ページの「おいしい水検定」は初めてだと思うが、「おいしい水検定」はどういった方に参加してもらうのを前提に考えているのか。

（企業局）「おいしい水検定」は、お子様も含めいろんな方に参加してもらえそうな形を考えている。

（構成員）水道出前講座が小学4年生を対象とすると、そのぐらいの年齢以上ということか。

（企業局）水道出前講座が小学4年生を対象にしているので、小学4年生も参加できるようなものを考えていきたい。

（構成員）「おいしい水計画（仮）」20 ページの⑤水道水のリスク管理のところ、「自然災害や水質事故などの水道水質に影響を及ぼすリスクへの対応方法を整備」とあるが、具体的にどのようなことを考えているのか。何かマニュアル化するのか、それとも何か物品を揃えるのか、どのようなことを考えているのか教えてもらいたい。

（構成員）⑤水道水のリスク管理については水安全計画というものがあり、例えば台風等で濁質が上がる、河川で油が流れるなどの事象が起きても、浄水場で適切な浄水処理を行えるようあらかじめマニュアル化をしておくことで、リスクへの対応を強化していくということである。

（構成員）「おいしい水計画（仮）」20 ページの⑧管路の更新・整備・維持管理に、「使用状況に応じて減径やループ化を検討します」とあるが、この意味を教えてもらいたい。

（企業局）当局では年間70kmくらい管路の更新を行っている。その中で、水道水の使用状況等によっては、管路を減径できる場所がある。これについてはシミュレーション等を行い、減径しても問題ないということを確認した上で、更新工事に併せて管路を減径している。また、行き止まりになっているような管路を整備によって延長する際に、末端同士をつなげるループ化という工事も実施している。

（構成員）管路の更新のところに書いてある目標使用年数について、「法定耐用年数（40年）を超えた管路においても、法定耐用年数を超えて使用できるものもあるため、県営水道独自の目標使用年数を定め、計画的な更新を実施していきます。」とあるが、これは40年を超えている管路も、県営水道独自で別の目標使用年数を定めているという意味か。

（企業局）管路の法定耐用年数が40年というのは決まっているが、40年を超えても十分

議事録（要旨）

に使用できる管路はある。当局では、管路の材質や口径によって異なるが、60年から80年は使えることから、これを目標使用年数と定め、目標使用年数以内に更新するように管路の整備を行ってるところである。

（構成員）管路は整備された時期も違うだろうから、新しく整備されたものほど、法定耐用年数よりも長く使えるようになるということか。

（企業局）現在、主に使用しているダクタイル鋳鉄管のGX形というものについては、メーカーによると100年持つと言われている。

（2）パブリックコメントの実施について

資料(p3)により、計画書案「おいしい水計画（仮）」への意見募集結果について事務局から説明。

（3）名称について

資料(p3)により、計画書名称案「安全・おいしい水プロジェクト2021」について事務局から説明。

主な意見、質疑は以下のとおり。

（構成員）2021というのはカッコいい感じはするが、将来的にはどうなるのか。今だけという印象がする。

（構成員）2021はカッコいいのでこれで良いと思う。ただ、資料には元号で書いてあるので、西暦と併記にしてもらわないと、頭が混乱する。

（構成員）2021にすると、それ以降はどうするのかというのはある。すぐに思い浮かばないが、2021 beyond にするとか。年号は役所的にいろいろと難しいだろうが、せっかくなので分かりやすくしてもらえればと思う。

（構成員）21だけにする。

（構成員）5か年計画だから、2025とか5年後の数字を入れるのはどうか。

（構成員）2021というのは2021スタートということか。来年以降も続くとなると、西暦によって縛られるのではないかと感じる。

（構成員）年号が入ると、いつまで続くのかという感じがする。第1章とかにしてはどうか。

（構成員）仕切り直しということだろうが、2021の部分は気になる。

（構成員）目標の最終年が2025であれば、一旦はそこで完成を目指すということで2025に向かってとかはどうか。

（構成員）事務局案でも良いと思う。5か年計画で毎年見直していくと思うので、最終年度が分かるようにしておいた方が良い。

（構成員）計画の観点が「安全・安心」と「おいしい」なのに、「安心」がないのはなぜか。

（企業局）元々は「千葉県営水道安全・安心・おいしい水プロジェクト」としていたが、長いという話があったので、コンパクトにして「安全・おいしい水プロジェクト」という形にした。特に意図して「安心」をなくした訳ではない。

議事録（要旨）

（構成員）最初の頃に、「安全と安心は違う」ということを何度も話し合った。「安心」を抜くのはどうなのか。2021を入れず「安全・安心・おいしい水プロジェクト」でも良いのではないか。

（構成員）年号の2021は、キャッチーで全体的に若々しくなった印象がする。一方で、いつまでなのかという気はしている。令和にするのはあまり賛成しない。第1章とか、エピソード1とか、シーズン1とか続きそうなイメージがあると良いと思う。

（構成員）継続を感じさせる方が良い。

（企業局）いろいろと意見をもらったので、参考にして名称を考えていきたい。

（4）新キャッチフレーズについて

資料(p3-4)により、新キャッチフレーズの募集状況を説明し、局内審査で選考した10作品について持ち点3点で採点してもらった。

※新キャッチフレーズは、構成員の意見を踏まえ、最終的に局で決定する。

○議題2 「第2次おいしい水づくり計画」令和2年度取組について

資料(p5-12)により、「第2次おいしい水づくり計画」の令和2年度取組状況などについて事務局から説明。

○水道部次長挨拶

○水道部長挨拶

○連絡事項・閉会

以上